

令和元年度

# 草津市の文化振興に関する意見書

重点プロジェクトについて

施策評価について

令和2年3月 草津市文化振興審議会



# 目次

はじめに	P.1
<b>重点プロジェクトについて</b>	<b>P.2</b>
・〔研究〕（仮）次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	P.3
・〔研究〕アートフェスタくさつ	P.4
・〔研究〕学校連携プログラム	P.6
・〔準備〕（仮）ヒトとオトの通り道 プレミアムステージ	P.8
・〔準備〕（仮）おでかけシアタープログラム	P.9
・〔準備〕（仮）バリアフリーな鑑賞会 リラックスパフォーマンス	P.10
<b>施策評価について</b>	<b>P.11</b>
・草津市美術展覧会	P.11
<b>参考資料</b>	<b>P.12</b>
・審議経過	P.12
・審議会委員名簿	P.13

# はじめに

草津市では、文化振興の理念や施策を具体的に明文化し、市民と共有することで、より一層の文化振興を図るため、平成29年7月1日に草津市文化振興条例を施行されました。同条例第6条第1項では、文化振興計画の策定について定められており、文化振興施策を総合的かつ計画的に推進し、誰もが文化に親しめる環境を整え、さらには文化の力によって都市の魅力を高めることを目的として、平成30年3月には同計画を策定されています。

同時に、国においては、平成29年6月23日に文化芸術振興基本法改め文化芸術基本法を施行し、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携や、社会包摂の考え方に基づく施策展開が盛り込まれ、各自治体においても、国の法律や計画を参酌した文化振興施策の展開が求められています。

また、平成30年6月13日には、障害者の文化芸術活動の推進に関する法律が施行され、障害者の文化芸術活動の推進に関して自治体の責務が明記されたことで、自治体の文化政策を取り巻く環境は著しく変化しております。

そうした中で、草津市教育委員会の附属機関として設置されている当審議会は、「文化振興に関する計画の策定および推進その他の文化振興に関し必要な事項についての調査審議に関する事務」を担任事務としており、昨年度から当審議会に「重点プロジェクト検討部会」「施策評価部会」の2つの部会を設置いただき、委員それぞれの専門的な見地より議論を深めてまいりました。

この度、一年間の議論の成果を意見書としてまとめましたので、今後の施策展開に反映いただけることを期待申し上げます。

草津市文化振興審議会

会長 中川 幾郎

# 重点プロジェクトについて

重点プロジェクトは、文化が生み出す価値を教育、子育て、健康、福祉、産業、観光、まちづくり、環境をはじめとした様々な分野に結び付け、市の関連部局と企業、大学、文化団体等の多様な市民が連携しながら、文化を基軸とした複合的に効果のある事業を研究、展開することが草津市文化振興計画に定められています。

今年度は、同計画に基づき、重点プロジェクトのうち「13万人の文化プロジェクト」の展開に向けた準備、「次世代文化体験プロジェクト」の研究を進めてまいりました。

「13万人の文化プロジェクト」の準備については、各プレ事業を実施いただいているところであり、その成果を検証することにより、次年度の展開に向け取り組んでいただきたいと考えております。

また、「次世代文化体験プロジェクト」については、3つの具体的なプロジェクトを提案しますので、事業の実施について検討いただくようお願い申し上げます。

なお、草津市においては、産学官民の協働によるオール草津での文化振興を進めていただいているところであり、今後も、文化ホールの指定管理者、アーティスト、コーディネーター、事業者、市関係部局など多様な主体との連携体制による事業展開を期待しております。

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
次世代文化体験プロジェクト		研究	準備	展開		
13万人の文化プロジェクト	研究	準備	展開			
ふるさと草津の心プロジェクト			研究	準備	展開	

## プロジェクト全般

□事業名：

- ・草津らしさがある個性ある事業名とすること。

□事業評価：

- ・ヒアリングやアンケートを行い、事業評価をしっかりと行うこと。

□人材発掘および育成：

- ・行政の担当が異動となっても事業を動かせる仕組みや、引き継げる体制を作ること。
- ・各プログラムを通じて、人材をストックし、コミュニティとネットワークをつなげること。

□危機管理：

- ・感染症への対策など危機管理に努めること。

## 次世代文化体験プロジェクト（研究）

### Ⅰ（仮）次世代文化体験プロジェクト情報発信事業（新規）

#### ◆事業目的

オール草津で次世代文化体験プロジェクトを推進するため、市が関係する広報ツールを活用し民間が主催する文化事業の情報発信をサポートすることで、次世代の文化活動の充実を図る。

#### ◆実施主体

主催：草津市教育委員会（生涯学習課）

#### ◆研究概要

市政情報を発信する草津市の公式ホームページにおいて、該当事業をリスト化し、ホームページ上で周知を行う。イベントホームページへの外部リンクやチラシのダウンロードも可能とする。

#### 次世代文化体験プロジェクト（草津市教育委員会後援事業）

更新日：2019年5月22日 [Tweet](#)

平成30年3月に策定した草津市文化振興計画では、本市における文化振興を特徴づけるため、「次世代文化体験プロジェクト」「13万人の文化プロジェクト」「ふるさと草津の心プロジェクト」の3つの重点プロジェクトを設定しています。  
草津市教育委員会が後援している事業のうち、同プロジェクトに該当するものについて、草津市公式ホームページ上で広報します。

#### 次世代文化体験プロジェクト



草津の文化を担う次世代を育成するとともに、大人になっても文化に親しむ基盤づくりを行うため、学校や地域社会等において幼少期から文化に触れることができる機会の充実を図ります。  
また、子どもや若者が草津に生まれ育ってよかったと思え、後に市民としての誇りやアイデンティティーの礎となるような文化体験の機会を創出するための仕組みづくりに取り組みます。

#### 草津市教育委員会後援事業

イベント名	開催日時	開催場所	問合せ先
草津市美術展覧会	令和元年10月5日（土曜）から令和元年10月13日（日曜）まで 午前9時から午後5時まで	草津市役所2階特大会議室	草津市美術展覧会実行委員会 電話番号：077-561-2428 <a href="http://www.city.kusatsu.shiga.jp/">http://www.city.kusatsu.shiga.jp/</a> チラシ(PDF:2.642KB)

#### ▼掲載イメージ

#### ◆主な対象者

草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当する事業を申請した者

#### ◆方向性

その他の有効なPR方法については、順次検討を行う。

#### ◆委員の意見

他の自治体の事例も研究しながら、SNSなど若者が入手しやすい情報発信の手法を研究すること。

## Ⅰ アートフェスタくさつ（拡大）

<p>◆事業目的</p>
<p>多様な人との関わりの中で、子どもや若者が気軽にアートに親しみ、人と文化に出会い交流する機会を創出することで、市の文化を担う次世代の育成を行うことを目的とする。</p>
<p>◆実施主体</p>
<p>主 催 : 草津市 21 世紀文化芸術推進協議会、イオンモール草津、草津まちづくり株式会社、草津市教育委員会(生涯学習課)          事業協力: 市民コーディネーター、アーティスト、(公財)草津市コミュニティ事業団、草津市(商工観光労政課)、草津市教育委員会(歴史文化財課／草津宿街道交流館)</p>
<p>◆研究概要</p>
<p>□イオンモールとの文化振興に関する協定の締結 ※協定締結日:10月12日          協定を締結し、イオンモール草津、市内在住の市民コーディネーターとの協働で各種事業を展開。毎月定例で開催するビワアートコレクションの他、アートフェスタくさつのイベントとして、10月5日～18日の間、ビワアートフェスをイオンモール草津館内で開催。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>▼WS イベント(ビワアートコレクション)    ▼1階通路の展示(ビワアートフェス)    ▼空き店舗の活用(ビワアートフェス)</p>
<p>□ロジウラテラス、ロジウラクエストの開催 ※開催日:10月19日          街道の路地裏に点在するお寺4カ所を新たな会場とし、大学生やアーティスト等の市民コーディネーターによる体験型のアートプログラムをアートフェスタくさつ内で実施。合わせて、お寺を題材とした謎解きゲーム「ロジウラクエスト」を開催。両イベントで 600 人程度の来場があり、アートに触れながら地域の文化的資産の歴史や価値について学ぶ機会となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>▼民族楽器のコンサート(ロジウラテラス)    ▼バッチづくり WS(ロジウラクエスト)    ▼謎解きゲーム(ロジウラクエスト)</p>

<b>◆主な対象者</b>
就学前～小学生
<b>◆検証</b>
<p>多様な市民コーディネーターの活用により、人材発掘および育成を行うことができた。同時に、ワークショップの題材として、青花、勾玉、サンヤレ踊り等を活用することで、草津市の文化的資産のPR、活用にもつながった。</p> <p>ロジウラテラス、ロジウラクエストの開催にあたっては、寺院や観光ボランティア等の協力を得、新たな関係性づくりにも取り組んでいる。</p> <p>イベント参加者の満足度が高められるよう、今後も新たなプログラム開発や人材発掘は継続していく必要がある。</p>
<b>◆方向性</b>
<p>引き続き、イオンモール草津とは、市の施策や草津市の文化的資産と結び付けながら、子どもを対象としたワークショップイベントを開催予定であり、新たな展開についても協議中。アートフェスタくさつについても、中心市街地の活性化、文化的資産の活用アートを結び付け、アートによるまちづくりの機運づくりと子ども達が多様な文化に触れる機会づくりを行う。</p>
<b>◆委員の意見</b>
雨天時の対策について検討すること。



## Ⅰ 学校連携プログラム（新規）

<p><b>◆事業目的</b></p>
<p>就学前～中学校の各段階において、子ども達が分け隔てなく文化に親しむことで、観察力、想像力、表現力等を養い、大人になっても文化に親しむ基盤づくりを行うとともに、市民としての誇りやアイデンティーの礎となるような文化体験の機会を創出する。</p>
<p><b>◆実施主体</b></p>
<p>主催：(公財)草津市コミュニティ事業団、滋賀大学、草津中学校、各小学校、 矢橋ふたばこども園、草津市(幼児課)、草津市教育委員会(生涯学習課)</p>
<p><b>◆研究概要</b></p>
<p>□アミカホールウェルカムコンサート(草津中学校特別支援学級) ※開催日:1月20日 ヒアリングの流れから草津中学校特別支援学級の生徒11名をアミカホールに招待。事前に生徒たちの好きな曲や、必要な配慮等について協議を行い、アーティストによる演奏、アルハーブ等の楽器の体験、合奏等を行った。</p> <p>□こころの劇場(市内小学校11校/14校) ※開催日:1月8日 市内の小学校全校に案内し、小学6年生1,200人に劇団四季のミュージカルを鑑賞いただいた。遠方にある学校については、公用バスを運行。児童が等しく文化に触れる機会を提供した。</p> <p>□学校アート化計画(矢橋ふたばこども園) ※開催日:12月2日～9日 滋賀大学との連携協定に基づき実施。立体作品を子どもたちの日常に出現させることで、子ども達の観察力、想像力、表現力、コミュニケーションを刺激。アートを幼児教育・保育に活用することの有用性を関係者間で共有した。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▼合奏の様子(ウェルカムコンサート)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▼送迎の様子(こころの劇場)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▼立体作品の一部(学校アート化計画)</p> </div> </div>
<p><b>◆主な対象者</b></p>
<p>就学前～中学生</p>

**◆検証**

アミカウェルカムコンサートは、他の中学校にも広げる場合には面識のない生徒同士が同席することになるため、慎重に検討する必要がある。

全般的には、全学校一律での実施は困難であるため、希望校を募る形となるが、より多くの参加が得られるよう、効果的な周知策や必要な配慮を検討する必要がある。

**◆方向性**

就学前、小学校、中学校の各段階において、必要に応じ担当課とも連携しながら事業を実施。学校等との接点づくりを行い、ニーズを探った。

引き続き学校等と意見を交わしながら、文化ホールの指定管理と連携し各段階に向けたプログラムの検討を行う。

**◆委員の意見**

学校アート化計画は、アーティストやキュレーターを活用する他、子ども達の想像力を引き出す事業とすること。

## 13万人の文化プロジェクト（準備）

### I（仮）ヒトとオトの通り道 プレミアムステージ

<b>◆事業目的</b>
文化的な生活に参加することは、生まれながらにして誰もが享受することのできる権利であり、年齢、障害の有無、経済的状況等に関わらず、誰もが等しく文化に触れる環境を整えることが必要となっている。文化活動に参加する環境が十分とは言えない障害者等が必要とする配慮を行った文化事業を実施することで、誰もが自然と同じ空間にいることができる機会を創出し、文化芸術をツールとした共生社会づくりの一助とする。
<b>◆主な対象者</b>
社会人、学生、障害者
<b>◆事業概要</b>
駅前の公共空間を活用し、帰宅時間など人が多く集まるタイミングで、アーティストによるステージを開催。仕事や勉強等に忙しく、文化に触れる機会が少ない人や障害者でも、気軽にコンサート等を鑑賞することができる機会を提供する。 障害者の方にも参加いただけるような周知策や配慮を行うことにより、誰もが文化に触れることができる機会の充実を図る。
<b>◆プレ事業の内容</b>
草津まちづくり株式会社主催の草津コーヒーフェスに事業協力を行い、屋外公共空間でのコンサートを実施予定。企画会議の中で、来年度の本格実施に向け、会場設定や課題、事業連携の可能性について意見交換を行い、連携強化に取り組んだ。 ※チラシ別添
<b>◆実施主体</b>
主 催 :草津まちづくり株式会社 事業協力:(公財)草津市コミュニティ事業団、草津市教育委員会(生涯学習課)
<b>◆委員の意見</b>
普段、音楽に触れていない方に来ていただけるよう、広報の在り方を検討すること。

## Ⅰ（仮）おでかけシアタープログラム

<b>◆事業目的</b>
文化的な生活に参加することは、生まれながらにして誰もが享受することのできる権利であり、年齢、障害の有無、経済的状況等に関わらず、誰もが等しく文化に触れる環境を整えることが必要となっている。文化活動に参加する環境が十分とは言えない障害者等が必要とする配慮を行った文化事業を実施することで、誰もが自然と同じ空間にいることができる機会を創出し、文化芸術をツールとした共生社会づくりの一助とする。
<b>◆主な対象者</b>
障害者
<b>◆事業概要</b>
長距離の移動が困難な方でも参加できる地域の施設や、通いなれた場所に出向き、社会包摂型のアウトリーチを展開。様々な背景を理由に、普段、文化に触れることが困難な障害者に配慮したプログラムとすることで、誰もが文化に触れることができる機会の充実を図る。
<b>◆プレ事業の内容</b>
市内 NPO 法人 2 者、文化ホール、市障害福祉課との 3 回の運営会議を行い、アウトリーチコンサートを企画。共生社会実現の一助とするため、障害者だけでなく誰もが楽しめるコンサートとなるよう必要な配慮として、障害者の方が通いなれた施設を会場として設定する他、演目、プログラムの事前配布、座席配置、看護師の配置等について検討を行っている。また、障害者の手元に情報が届くように、各障害者福祉施設等にチラシを直接郵送する。 ※チラシ別添
<b>◆実施主体</b>
主催 : (公財)草津市コミュニティ業団、草津市(障害福祉課)、草津市教育委員会(生涯学習課) 事業協力: NPO 法人スマイルフレンズ、NPO 法人ディフェンス
<b>◆委員の意見</b>
障害者が参加しやすいよう、前もってどのような配慮があるのか分かりやすく伝えること。

## Ⅰ (仮)バリアフリーな鑑賞会 リラックスパフォーマンス

<b>◆事業目的</b>
文化的な生活に参加することは、生まれながらにして誰もが享受することのできる権利であり、年齢、障害の有無、経済的状況等に関わらず、誰もが等しく文化に触れる環境を整えることが必要となっている。文化活動に参加する環境が十分とは言えない障害者等が必要とする配慮を行った文化事業を実施することで、誰もが自然と同じ空間にいることができる機会を創出し、文化芸術をツールとした共生社会づくりの一助とする。
<b>◆主な対象者</b>
障害者、乳幼児、子育て世代等
<b>◆事業概要</b>
障害等を理由に、通常の劇場環境に馴染むことが困難な方が、よりリラックスした環境で鑑賞を楽しめるよう配慮した公演を行う。 上質な舞台芸術を提供するとともに、劇場環境や料金設定を工夫することで、劇場に訪れることに対してハードルを感じる方も鑑賞しやすい公演とする。
<b>◆プレ事業の内容</b>
ゆいま〜る未来主催「かがやくいのち展」に共催。ともに企画を検討、実施する中で、障害者の方に必要な配慮等を文化ホールのスタッフが学ぶ契機とした。ロビーコンサートにおいては、障害者の方および介助者の方が10名程度来館。事前の趣旨説明、座席配置、演目等の必要な配慮について学んだ。
<b>◆実施主体</b>
主催:ゆいま〜る未来 共催:(公財)草津市コミュニティ事業団 後援:草津市教育委員会(生涯学習課)
<b>◆委員の意見</b>
特になし

# 施策評価について

昨年度、事業評価を行った草津市美術展覧会について、初開催から半世紀以上が経過していること、また、令和3年度から会場が変更になる予定であることから、他市との差別化を図り、独自性のある展覧会となるよう見直しを行っていただくよう下記の通り意見申し上げます。

見直しにあたっては、これまで長きにわたり円滑な運営に御尽力頂いてきた草津市美術展覧会実行委員会との意見交換会を実施し、昨今の美術界を取り巻く状況から、より多くの若者が参加し、かつ、透明性、公平性が担保できるよう、審議を行いました。

次年度以降につきましても、引き続き、草津市美術展覧会実行委員会とも意見を交わしながら、見直しに向けて着実に取り組んでいただくようお願いいたします。

## 草津市美術展覧会

### □運営体制：

- ・現在、会長、副会長となっている市長、教育長は、運営の実態に合わせ、役職を見直すこと
- ・キュレーター、学識経験者等を加え、運営体制の充実を図ること。

### □実行委員の任期：

- ・実行委員が固定されないことがないよう、審議会等の任期を参考にしながら、適切な任期を定めること。

### □審査員：

- ・審査の透明性を担保できるよう、審査員数、プロフィールの公表、公開審査等について検討を行うこと。

### □部門：

- ・デザイン部門を新設する等、より多くの人が出品しやすい部門構成とすること。

### □特色：

- ・若者を対象とした賞の新設、市民参加型の展覧会とする等、他市との差別化、若者の出品促進を図り、草津ならではの展覧会を目指すこと。

※参考資料別添

# 参考資料

## ▼審議経過

開催日時／会場		主な審議事項
第1回 重点プロジェクト検討部会	令和元年6月7日(金) 市役所教育委委員会室	(1) 今年度の重点プロジェクト検討部会の概要 (2) 次世代文化体験プロジェクトの研究 (3) 13万人の文化プロジェクトの準備
第1回 審議会	令和元年6月28日(金) 市役所4階行政委員会室	(1) 文化事業調査結果 (2) 各基本施策の成果指標 (3) 施策評価部会のテーマについて (4) 重点プロジェクト検討部会のテーマについて
第1回 施策評価部会	令和元年12月27日(金) 市役所教育委員会室	(1) 運営体制について (2) 審査体制について (3) 部門について (4) 他の公募展との差別化・独自性について
第2回 重点プロジェクト検討部会	令和2年2月14日(金) 市役所教育委員会室	(1) 次世代文化体験プロジェクトの研究 (2) 13万人の文化プロジェクトの準備
第2回 審議会	令和2年3月4日(水) 草津アミカホール研修室	(1) 令和2年度 草津の文化振興に関する意見書

▼委員名簿

区分	氏名	部会	備考
学識経験を有する者	木下 達文●	重点 P	京都橘大学
	辻 喜代治○●	施策評価	成安造形大学
	中川 幾郎◎		帝塚山大学
関係する団体から選出された者	我孫子 卓哉	重点 P	草津市 21 世紀文化芸術推進協議会
	五十川 伸矢	施策評価	草津市文化財保護審議会
	伊庭 靖二	施策評価	草津市教科等部会別研修図工・美術部会
	梅山 克啓	施策評価	草津商工会議所
	澤 孝子	重点 P	(公財)草津市コミュニティ事業団
	田端 一恵	重点 P	社会福祉法人グロー
	津屋 芙未	重点 P	滋賀次世代文化芸術センター
	中畷 裕恵	施策評価	えふえむ草津
中村 徹	施策評価	草津市 21 世紀文化芸術推進協議会	
公募市民	綾 牧生	重点 P	公募市民
	石田 はま子	重点 P	公募市民
	田中 修三	施策評価	公募市民

※◎は会長、○は副会長、●は部会長